

1 プログラム名 「自己紹介」

2 指導のねらい

好ましい人間関係をつくるためには、まず相手のことよく知らなければならない。そのためには、まず自分自身を把握し、「自分を開く」、そして「自分を相手に伝える」ことが必要である。素直に自分自身を表現するとともに、自分と違う相手の存在を認めることで、自他を尊重する気持ちを身に付けさせたい。

3 獲得目標とするスキル

- ①自分の得意なこと、好きなことを通して、自分のいいところを探す。
- ②相手にわかりやすく、表情を豊かに（笑顔で）視線を合わせながら自分を伝える。

4 展開

場面	教師の発問 (○)・指示 (●)	生徒の反応・行動	留意点	時間
インストラクション	●新学年になったり、新しい仲間と出会う時に自己紹介をする機会が多いと思います。今日は「自己紹介」の仕方を勉強しましょう。 ○なぜ、自己紹介をする必要があるのでしょうか？ ○自己紹介をするとうどんないいことがあるのでしょうか？ ○何を紹介したらいいのでしょうか？ ●自分のことをもっとよく理解してもらうために、上手な自己紹介の方法を考えてみましょう。	・自分を知ってもらう。 ・自分を見つめることができる。 ・相手のことがわかる。 ・自分のことがわかる。 ・友だちになれる。 ・私の好きなことや好きな物。 ・得意なこと、興味があること。	・良好な人間関係をつくるためには、自分のことをよく知ってもらう必要があることに気付かせる。 工夫のポイント 友だちに関するアンケート等を作成し、「もっと友だちを増やしたい」と思っている人がどのくらいいるのか把握し、授業に活用していくことも考えられる。	10
モデリング	●自分が友だちに伝えたいことをワークシートを使って書いてみましょう。 ●その中から、今日は、特に自己紹介で話したいことをいくつか選んでみましょう。 ●それでは、実際に自己紹介をしてみましょう。自分のことを上手に自己紹介するには、どうしたらよいでしょうか。まず、先生が自己紹介をやってみます。 ・悪い例「ぼそぼそ声」「下を見て」「無表情」 ・良い例「聞こえる声」「視線を合わせて」「身ぶりや表情が豊か（笑顔）」 ○どちらの自己紹介がよかったか？ ○どんなところがよかったのか？ ○どうすればよい自己紹介になるのでしょうか？ ●生徒の意見を板書し、整理していく。	・伝えたいことを考え、ワークシートに記入する。 ・自分が紹介したい内容を絞り込む。 ・デモンストレーションを見る。 ・後の方。 ・声が大きい。 ・視線がみんなを見ていた。 ・笑顔で自己紹介していた。 ・①聞こえる声 ②視線を合わせる ③表情豊か（笑顔）に話す	・ワークシートの内容は、自分のいいところを探そう助言する。 ・ワークシートが進まない生徒には、これまでの観察や情報をもとに助言する。また、書ける範囲でよいことを伝える。 ・デモンストレーションについては、教師もワークシートに準じた内容をあらかじめ決めておく。	10
リハール	●5～6人のグループになって、実際に自己紹介をしてみましょう。自己紹介をする人は、相手に自分の思いや考えが伝えられるように黒板の留意点に気を付けながら話してみましょう。また、聴く人は、留意点を参考にして友だちのよいところを見つけましょう。 ●一人の自己紹介が終わったら、友だちの自己紹介を聴いて「よかったところ」や「新しく発見したところ」を教えてあげてください。では、始めてください。	・1人ずつ自己紹介する。（30秒～1分を目安に） ・友だちの「よかったところ」、「新しく発見したところ」を共感的に伝える。	・学級の実態に応じてグループの人数を決定する。 ・必要に応じて、1人ずつの時間を区切るなどの工夫をする。 ・グループの発表を聴きながら、よい自己紹介を認めていく。	20
フィードバック	●みなさん、上手に自己紹介ができるようになりましたね。また、友だちのいいところをたくさん発見できましたね。 ○友だちの自己紹介を聴いてどうでしたか？みなさんの感想を教えてください。 ●上手に自己紹介できて、自分をわかってもらえとうれしくなりますね。また、自分の思いや考えを素直に表現することの大切さを学ぶことができましたね。これから、自分のいいところを伝え、そして、友だちのいいところを知り、よい仲間をつくっていききたいですね。	・自己紹介を聴いての感想を発表する。 工夫のポイント 授業で作成したワークシートを状況に合わせて学級に掲示したり、時間をとりより完成度の高い自己紹介カードを作成するなどの工夫が考えられる。	・数人の感想をきく。 * 事後に、朝の会や帰りの会において学級全体の前で自己紹介する機会やスピーチする機会をつくり、定着化していく。	10

5 その他

「自己紹介カード」の内容は、学級の実態に応じてアレンジしながら作成する。自己紹介の内容を自分自身で文章化することにより、考えを整理することができるようになり、整理された内容を人に伝えるように表現することが大切である。

板書例

「聞こえる声」「視線を合わせる」「身振りを交える」「表情豊かに（笑顔で）」「はっきりと」

年 組 氏名 _____

私の得意なことは、

私が、今、熱中していることは、

私の好きなことや好きな物は、

私が頑張っている（これから頑張ろうとしている）ことは、

わたしは、将来、

自分のいいところは、



学級のみんなへのメッセージ

『 上手に自己紹介をするためには・・・ 』

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

【自己紹介の例】

私の名前は、埼玉太郎です。太陽小学校から来ました（去年は1年2組でした）。部活動は柔道部に入っています。性格は、親にもよく「マイペースな性格ね」と言われますが、のんびりしている方だと思います。この前も犬の散歩に行っていて帰ってきたら1時間経っていました。それから、私の今の目標は、柔道を頑張って、県大会に出場するという事です。そのために筋トレや打ち込みなどつらい練習にも耐えています。柔道部の友だちとも励まし合って頑張っています。このクラスは、初めて同じクラスになった友だちがいっぱいいます。こんな私ですが1年間みんなと仲良くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。